

第9回 プラネタリーヘルス（1月17日金曜日）

こんにちは。

長崎大学人、河野茂です。

明日からセンター試験です。

関係者の皆様は大変ご苦労様です。何卒よろしくおねがいします。

この学長メールは、何回まで続けるか？

と、ご質問がありますが、とりあえず10回までは毎日続けて、あとは、

不定期に発信しようと思います。

しばらく、お付き合いください。

プラネタリーヘルス（地球の健康）に貢献する大学とするために、最初に

下記のようなことを考えました。

当然、大学運営にどう反映するかは私の仕事ではありますが、様々な方面との調整があり、

すぐにはできません。まずは、すぐにできそうなことを、皆さんとともに実践する

という点で下記の6点を考えました。

◎プラネタリーヘルスシンポジウムまたは勉強会

私と環境科学部長で主催したらどうでしょうか。

シンポジストに、各学部の先生やグレッタさんのような元気のよい学生を入れたいと

思います。環境科学部、いかがでしょうか？

まずは、プラネタリーヘルスに対する共通理解を深める必要があるでしょう。

最終的には、地元企業や行政も入れた組織体を目指すための、組織づくりも

考えたいと思います。

◎現役大学生の教育にプラネタリーヘルスを取り入れる

将来的に正規の横断的な授業を構築したいのですが、来期からやれる教育については、

どのような案がいいでしょうか？ ぜひ、各学部の教授陣の方ご意見をお願いします。

学生のために体系的に整えることが、かえって理解を深めることにもなります。

◎学生の課外活動などの<プラネタリーヘルス>実践例を、ピックアップしたり、

学長賞を付与したりするのはどうでしょうか？

ぜひ、学生担当の事務方の皆さん、ご意見をおねがいします。

実践例は貴重です。社会と接点を持った瞬間に実学としての価値が高まります。

◎10年先、さらにもっと先の人材育成を考えて、附属小学校、附属中学校で

プラネタリーヘルスのコンセプトを勉強したり、議論する案はいかがでしょうか。

教育学部長、どのようにお考えでしょうか？

人材こそがカギです。継続して成し遂げる基礎となります。

◎高校生へ向かって、プラネタリーヘルスを推進する大学を広報するためには、

どうしたらいいでしょうか？

高大接続担当副学長、どうでしょうか？

高校生は即戦力となりえます。重要なポジションです。

◎プラネタリーヘルスを推進する広報に関しては広報戦略本部長、いかがでしょうか？

ホームページやポスターなども重要と思います。

学内の学生や教職員へどう浸透させればよいでしょうか？

学内だけでなく、学外や一般社会にも浸透できれば、思いがけない発展がありそうです。

あえて、この公開メールで依頼をしましたのには、理由があります。

みんなで、プラネタリーヘルスを実践する大学へと変貌したいと思っているからです。

できるだけ、情報を公開して物事をすすめたいと思っております。

指名された方以外の教職員の皆様も、ぜひ、ご意見をください。

非常に、些末な案かと思う方もいらっしゃるでしょう、

しかし、絵に描いた餅にならないためにも、小さいところから

積み上げていくことも大事と思います。